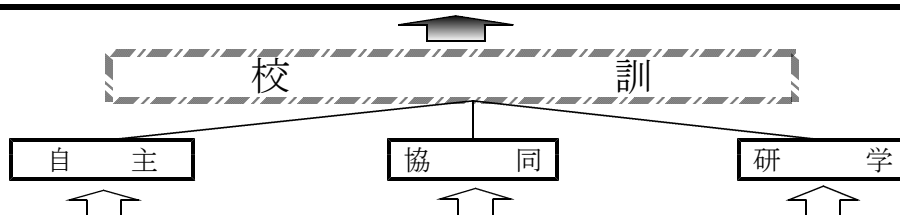


豊かな心を育み、生涯にわたる「学び」を実現する教育の創造



富東羽ノ浦校の生徒像	自主的精神にみち、調和の取れた人間	連帯性を高めあう豊かな心を持った人間	常に向上心をもって臨む勤勉を尊ぶ人間
------------	-------------------	--------------------	--------------------

教育目標	<p>看護職を志す者としての豊かな心、確実な知識や技術を備え、生涯にわたり「学び」の姿勢を持った社会に貢献できる看護師の育成をめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 5年一貫看護師課程の充実・向上をめざす教育 ○ 人権尊重の意識・実践力を育む人権教育 ○ いじめや体罰を許さず、豊かな心を育む生徒指導 ○ 看護職としての目標の明確化と自主的意欲を育む学習指導の徹底 ○ 5年間の一貫教育に基づいた進路指導 ○ 心身の健康と安全をめざす健康教育 ○ 個に頼ることなく、報告・連絡・相談を確実にし、組織力で迅速かつ有機的に動く教職員集団の創設 ○ 能動的に防災に対応することのできる人材を育成する防災教育
------	--

重点目標	<p>I 思考力や判断力を養うとともに、自主的・主体的な学習習慣を確立し、学力の向上・定着を図る。</p> <p>II 臨地実習での指導方法を工夫し支援体制を整備するとともに、看護師国家試験全員合格を目指す。</p> <p>III あいさつ、ことばづかい、礼儀作法、時間やマナーを守る態度と好ましい人間関係を育成し、看護師として必要な資質の向上を図る。</p>
------	--

具体的重点目標	<p>《全校レベル》</p> <p>I 生徒自身が考え判断し実践できることをめざし、また、意欲的に学習に取り組む習慣を確立できるような学習指導の工夫や授業改善に取り組む。</p> <p>《下位組織レベル》</p> <p>①年間2回の相互授業参観の実施や教員研修会、授業評価を通じて、教員の授業力の向上を図る。 [全教員]</p> <p>②週課題は、思考力の育成や自主的な学習活動に繋げるとともに、提出を徹底させる。 [看護科]</p> <p>③自主的学習習慣を支援するため、課題学習の工夫・改善を図る。 [専攻科]</p> <p>④生徒に学習の具体的目標を持たせるため、各テスト(課題テスト、実習前総合評価、YEPE、基礎看護技術テスト、模擬試験)を計画的に実施し、事後の個別指導の充実を図る。 [教務課、進路指導課、看護科、各教科担任、HR担任]</p> <p>⑤専門領域の教員研修に取り組み、専門科目の指導の充実を図る。 [全教員]</p> <p>⑥家庭学習を充実させるため、予習・復習を必要とする授業展開や指導方法を工夫する。 [全教員]</p>
目標	<p>《全校レベル》</p> <p>II 臨地実習において必要な基礎学力の充実を図り、生徒の力量に応じた個別指導に取り組み、全員の看護師国家試験合格をめざす。</p>

	<p>《下位組織レベル》</p> <p>①看護科と専攻科の連携を深め臨地実習指導の充実を図る。 [看護科教員] ②実習時における個別・グループ別指導の充実を図る。 [看護科教員] ③臨地側指導者と密接な連携を図る。 [各施設担当者] ④国試演習の充実を図る。 [進路指導課] ⑤模擬試験の有効活用に取り組む。 [進路指導課]</p>
<p>具 体 的 重 点 目 標</p>	<p>《全校レベル》</p> <p>Ⅲ 基本的な生活習慣の確立を目指し、あいさつの励行や望ましいことばづかいや態度、マナーを身につけさせ、習慣化を図る。</p> <p>《下位組織レベル》</p> <p>①毎学期の生活目標を持たせ、主体的に行動できるようにする。 [各 HR 担任, 生徒指導課] ②「服装・マナーアップ週間」を設定し、頭髪・服装指導に取り組むとともに、相手や場に応じたことばづかい・礼儀・あいさつ・マナーについて自己評価させ、適切に対応できるよう指導する。 [環境保健渉外課, 生徒指導課] ③生徒会や生活委員等によるあいさつ運動を積極的に展開する。 [生徒指導課・特別活動教育相談特別支援課] ④いじめの未然防止、早期発見に努める。 [生徒指導課] ⑤防災教育の充実を図り、災害から身を守り、自らの安全を確保するための行動ができる能力を育成する。 [環境保健渉外課]</p>
<p>評 価 指 標</p>	<p>I ①相互授業参観期間を年2回実施し、評価に基づいた授業改善を行う。 ②研究授業を年3回実施。その後参加者による教員研修会を実施し相互評価を行う。 ③週課題の出題内容の充実を図り、テーマを設定した調べ学習を各学期1回以上設定する。 ④専攻科において、実習後の振り返りを行い、思考判断能力の向上が見られる。 ⑤授業評価で「授業の工夫・改善」の評価度が85%以上。 ⑥生徒が生活記録をふり返り、学習習慣について考える時間を設け、70%以上の生徒が毎週10時間の自己学習ができている。 ⑦学年末成績平均が60点未満の生徒は、保護者を交えて次年度の学習への取り組みや、学校生活について面談を行う。 ⑧教員は専門領域の研修会に年1回以上参加する。</p> <hr/> <p>II ①生徒が意欲的に臨地実習に臨めるように事前指導の充実を図る。実習事前レポートを期日までに100%の生徒が提出できる。 ②個人面談による個に応じた指導に取り組む。適切な資料の提供等生徒が実習しやすいような支援体制を整える。 ③臨地指導者との連携を密にし、生徒の問題を早期に把握し適切に対処できるようにする。 ④臨地実習終了後は、生徒全員が、実習場面の振り返りを行い、思考判断能力を育成する。 ⑤専攻科において、各模擬試験の有効活用を図り、必修問題8割、一般問題7割以上を取得できるようにするため再試験を実施する。 ⑥国試演習では看護師国家試験の出題基準を網羅し、内容の充実を図る。</p> <hr/> <p>III ①学期目標の自己評価の「できた」が平均80%以上。 ②各学年で、毎月服装指導を実施し、頭髪・服装指導を受ける者が生徒が5%以内。 ③基本的なあいさつがきちんと出来る生徒が90%以上。 ④適切な応対ができ敬語が使える生徒が90%以上。 ⑤自主・自律的に身だしなみについて考え、行動できたと自己評価した生徒が90%以上(専攻科) ⑥いじめに関して相談があった場合は、すみやかに対応する。 ⑦スクールカウンセラーを毎月1回配置し、生徒の悩み等の支援体制を整備する。 ⑧防災訓練を年2回行い、生徒全員が避難行動が行える。</p>